



取扱説明書

MDヘッドユニット

MDA-7767J

DHE  **NET** 

MDA-7763J

DHE  **NET** 

CDヘッドユニット

CDA-7877J

DHE  **NET** 

CDA-7873J

 **NET** 

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

FAX : 03-3494-1767 TEL : 03-3779-0711

電話受付時間 平日 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

電話は混雑が予想されます。FAXかハガキをおすすめします。

アルパインホームページ : <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Korea (S)

68P01434K43-A

⚠️ 安全にお使いいただくために

ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



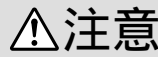
強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに霧がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起すことがあります。プレーヤーには影響ありません。

取り扱い上のご注意（MD）

ミニディスク（MD）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
シャッターを開けない / 内部にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する。

取り扱い上のご注意（CD）

本機で使用するディスクについて

下記ディスクマークのついているコンパクトディスクをお勧めします。

また、本機は音楽専用のCD-R（CD-Recordable） / CD-RW（CD-ReWritable）の再生が可能です。

MP3ファイル形式のCD-R/CD-RWは再生できません。

- ・ 次のようなディスクは、再生できないことがあります。
指紋やキズが付いている / 車内や製品内に長時間放置した / データ書き込み状態が不安定 / データフォーマットが音楽ではない / データ書き込みに失敗し再録音した場合など



コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルを貼ったり文字を書いたりしない / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する / 市販のアクセサリーを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高音多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

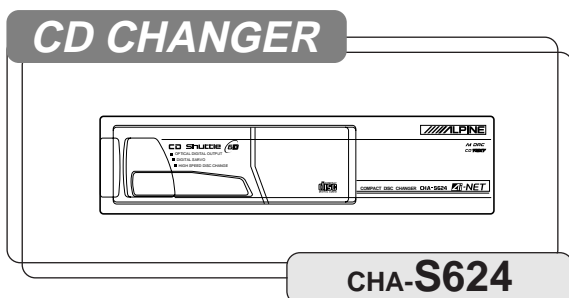
コンパクトディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

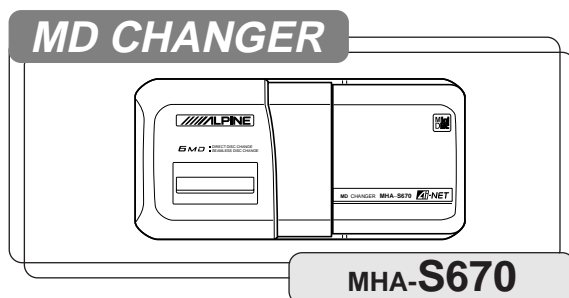
新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

CDも、MDも、お気に入りのアルバムは、 アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



CDチェンジャー
標準小売価格 ¥37,800 (税別・取付費別)



MDチェンジャー
標準小売価格 ¥69,800 (税別・取付費別)

車室内にもセットできる超小型サイズのCD 6枚チェンジャーが、
音質をグレードアップして新登場。

人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。

車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。

そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて
高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる

快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、

あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

目次

安全にお使いいただくために

警告 / 注意	2
目次	5

基本操作

リセットする	6
電源のON/OFF	6
ディスプレイの角度調整	6
ディスプレイの開閉	7
音量 / バランス / フェーダーの調整	7

MD操作 (MDA-7767J/MDA-7763Jのみ)

MD (ミニディスク) を聴く	8
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	9
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	9
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	9

CD操作 (CDA-7877J/CDA-7873Jのみ)

CD (ディスク) を聴く	10
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	11
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	11
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	11

チェンジャー操作

チェンジャーでMD/CDを聴く	12
-----------------	----

ラジオ操作

ラジオを聴く	13
放送局を記憶する	13
自動的に放送局を記憶する	13
記憶した放送局を受信する	14
道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)	14

タイトル / テキスト操作

タイトル / テキスト / スクロールとは	15
タイトル / テキストを表示する	15
タイトルをつける	16
スクロールの設定	17
記憶したタイトルから選ぶ	17
記憶したタイトルを消す	17

サウンド調整

(MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

DHEモードを選ぶ	18
イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ	19
イコライザーカーブの調整と記憶	19
記憶したイコライザーカーブの呼び出し	20
リスニングポジションの合わせ方 (LPS)	20
スペアナ表示パターンの切りかえ	21

ディバイダー / タイムコレクションについて	22
ディバイダー / タイムコレクションの調整と記憶	24
記憶したディバイダー / タイムコレクションの呼び出し	25

サウンド調整 (CDA-7873Jのみ)

ラウドネス (LOUD) を使う	26
パスフォワードの設定	26
レベルインジケータの表示パターンを切りかえる	26
HPF/LPFの設定	27
低音を強調する (バスセンター周波数)	27
高音を強調する (トレブルセンター周波数)	27

便利な機能 (共通操作)

ミュートのON/OFF	28
ディフェルト	28
操作音の切りかえ	28
TUNERモード切りかえ設定	29
時刻を設定する	29
時刻を表示する	29
拡張ユニット操作	
外部入力の設定	30
外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)	31
外部割り込みモードの設定	31
TV (Ai-NET対応) を操作する	32

便利な機能

(MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

ディスプレイの濃淡調整	33
拡張ユニット操作	
サブウーハーを接続する	33
サブウーハー出力の位相切りかえ	34
サブウーハー出力の設定	34

便利な機能 (MDA-7767J/CDA-7877Jのみ)

バックライトをOFFにする (BLACK OUT機能)	35
-----------------------------	----


便利な機能 (CDA-7873Jのみ)

ディスプレイの明るさ調整	36
拡張ユニット操作	
サブウーハーを接続する	36

リモコン操作

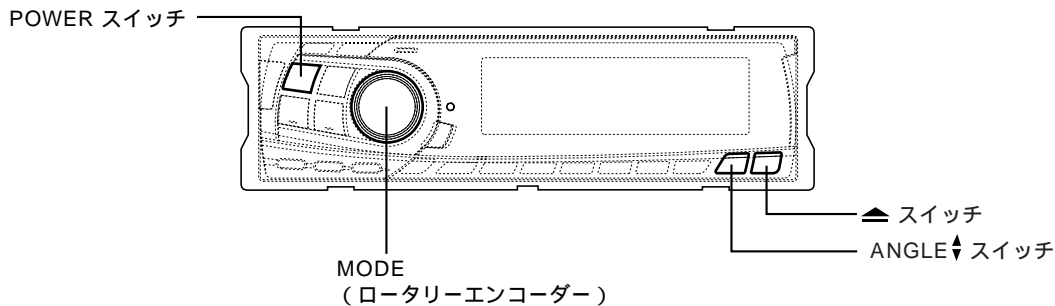
(MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

使用時のご注意 / 電池を入れる	37
基本 / MD/CD/チェンジャー / ラジオ操作	37
オーディオプロセッサ操作 (MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)	38

 取り付けと接続	39
--	----

その他

故障かな?と思ったら	44
規格	45
保証について	45
お問い合わせ窓口	46



基本操作

リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

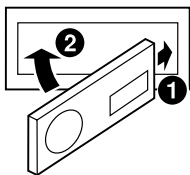
- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には、「POWER」を3秒以上押し、電源を切る。
- 2 リセットスイッチをペン先などで押す。



リセットすると、時刻など記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。

フロントパネルは取り外さないでください。取り外してしまったら、次の方法でもとに戻してください。

- ① 右端の角へパネルを斜めに合わせる。
- ② 右側を押さえながら、左端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込む。



取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっているも故障ではありません。取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。



電源のON/OFF

- 1 イグニッションキー（エンジンキー）をACCまたはONにする。
- 2 「POWER」を押す。電源が入る。
- 3 電源を切るときは、「POWER」を3秒以上押す。

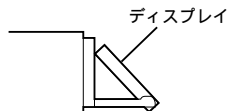


電源は「CLK」、「▲」、「△」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、MDまたはCDを挿入すれば電源が入ります。

ディスプレイの角度調整

ディスプレイを見やすい角度（3段階）に調整することができます。

- 1 「ANGLE」を押して希望の角度に調整する。調整したディスプレイの角度はそのまま記憶される。



ディスプレイは、イグニッションキーをOFFにしてしばらくすると全閉します。次に本機の電源をONにすると、調整した角度となります。



ディスプレイの開閉

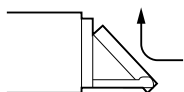
イグニッションキーをONにするだけで、操作することができます。

- 1 「▲」を押す。
ディスプレイが開く。



(ディスプレイが開ききった状態)

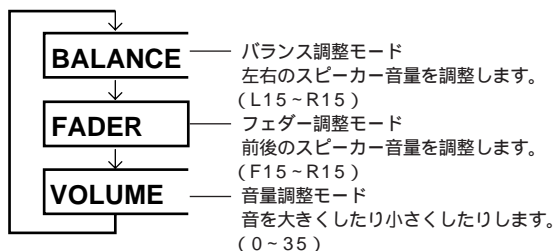
- 2 開いたディスプレイを戻すには、「▲」を押す。
 - ・角度調整あり
ディスプレイは記憶された角度になる。
 - ・角度調整なし
ディスプレイは全閉する。



ディスプレイが開ききった状態では、「▲」以外、操作できません。
本機の電源がONのとき、開ききった状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
イグニッションキーをOFFにしてからしばらくすると、ディスプレイは全閉します。

音量 / バランス / フェダーの調整

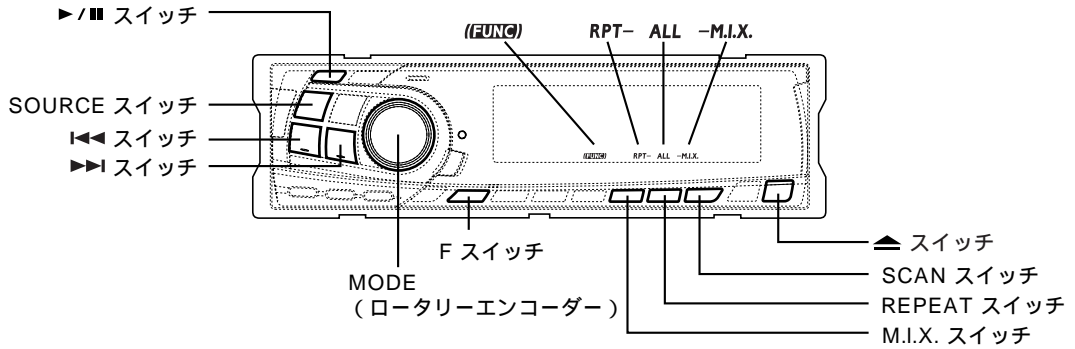
- 1 「MODE」を押して調整したいモードを選ぶ。



- 2 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、好みのレベルに調整する。



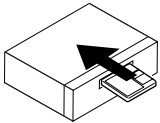
3WAY/2WAY切りかえスイッチ(41ページ参照)を「3WAY」に設定している場合、フェダー調整はできません。
(MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)
SUB-W(サブウーハー)が「ON」に設定されている場合は、SUB-Wのレベル調整も行えます。
モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。



MD操作 (MDA-7767J/MDA-7763Jのみ)

MD (ミニディスク) を聴く

- 1 「▲」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 ミニディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり演奏がはじまる。
<挿入時の注意>
ラベル面を上にする。
ディスクに印字された矢印に従い、挿入する。
- 3 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量(0~35)を調整する。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。



すでにミニディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、MDモードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → MD → CHANGER

(チェンジャー接続時のみ)

イグニッションキーが「OFF」の状態では挿入しないでください。故障の原因になります。

- 5 演奏を一時停止するときは、「▶/■」を押す。再度「▶/■」を押すと、演奏が再開する。

PAUSE

- 6 ミニディスクを取り出すときは、「▲」を押す。ミニディスクは必ず取り出す。
- 7 開いたディスプレイを戻すには「▲」を押す。



ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。

演奏中の曲の頭出し...「◀◀」を押す。
早戻し.....「◀◀」を押し続ける。

次の曲の頭出し.....「▶▶」を押す。
早送り.....「▶▶」を押し続ける。

T-04 → **T-05**

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「SCAN」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

SCAN

- 2 聴きたい曲が見ついたら再度「SCAN」を押す。
その曲の演奏を続ける。

チェンジャーモードのとき、
曲のイントロだけを聴く / 繰り返し聴く /
曲順を変えて聴く
上記機能をお使いの場合は、次のように
<FUNCインジケータ>を点灯させてから、5
秒以内に各操作手順で行ってください。



- 1 「F」を押す。



繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「REPEAT」を押して、<RPTインジケータ>を点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。



- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。



Memo

チェンジャー接続時
「RPT ALL」を指定すれば、そのディスクを
繰り返し演奏させることができます。
M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押して、<M.I.X.インジケータ>を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。

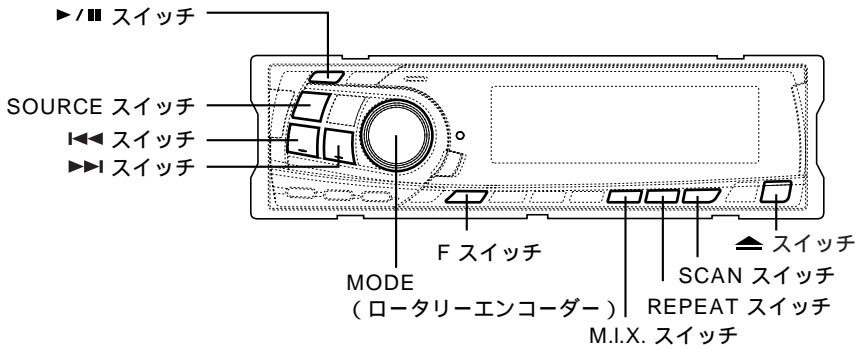


- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。

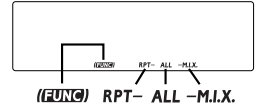


Memo

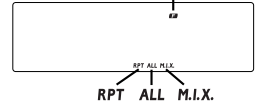
チェンジャー接続時
・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順
不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動
していきます。
・「ALL M.I.X.」を指定すれば、1曲ずつデ
ィスクを変えながら演奏します。
M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。



CDA-7877J



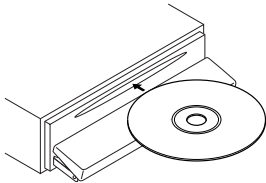
CDA-7873J



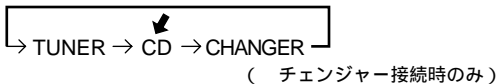
CD操作 (CDA-7877J/CDA-7873Jのみ)

CD (ディスク) を聴く

- 1 「▲」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 ディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり演奏がはじまる。
<挿入時の注意>
ラベル面を上にする。



Memo すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、CDモードにすると演奏がはじまります。



(チェンジャー接続時のみ)
シングルCD (8cm CD) はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。

- 3 「MODE」(ロータリーエンコーダー) を回転させて、音量 (0 ~ 35) を調整する。

- 4 「<<<」または「>>>」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

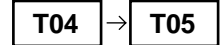
演奏中の曲の頭出し ... 「<<<」を押す。
早戻し 「<<<」を押し続ける。

次の曲の頭出し 「>>>」を押す。
早送り 「>>>」を押し続ける。

CDA-7877J



CDA-7873J



- 5 演奏を一時停止するときは、「>|||」を押す。
再度「>|||」を押すと、演奏が再開する。

PAUSE

- 6 ディスクを取り出すときは、「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

- 7 開いたディスプレイを戻すには「▲」を押す。

Memo ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「SCAN」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

SCAN

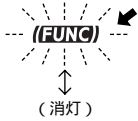
- 2 聴きたい曲が見ついたら再度「SCAN」を押す。
その曲の演奏を続ける。

チェンジャーモードのとき、
曲のイントロだけを聴く / 繰り返し聴く /
曲順を変えて聴く
上記機能をお使いの場合は、次のように
<FUNCまたはFインジケータ>を点灯させて
から、5秒以内に各操作手順で行ってください。



- 1 「F」を押す。

CDA-7877J



CDA-7873J

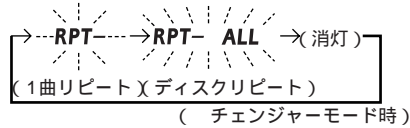


繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「REPEAT」を押して、<RPTインジケータ>を点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。

CDA-7877J



CDA-7873J



- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。



Memo チェンジャー接続時
「RPT ALL」を指定すれば、そのディスクを
繰り返し演奏させることができます。
M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押して、<M.I.X.インジケータ>を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。

CDA-7877J



CDA-7873J

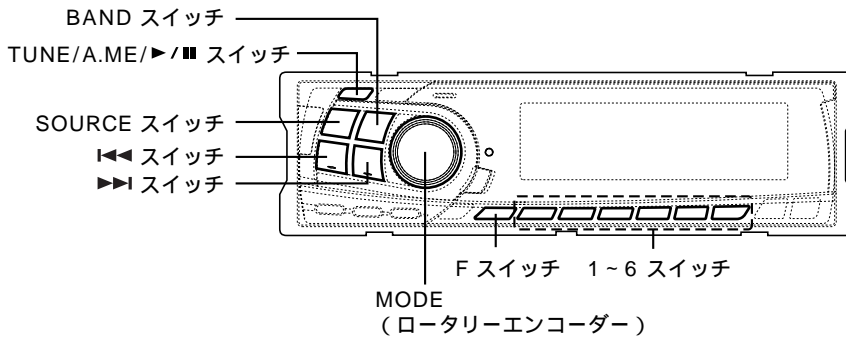


- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。

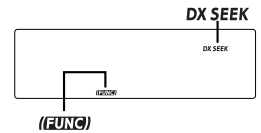


Memo チェンジャー接続時
・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順
不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動
していきます。
・「ALL M.I.X.」を指定すれば、1曲ずつデ
ィスクを変えながら演奏します。
M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

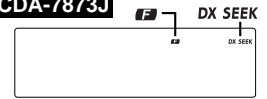
チェンジャー



MDA-7767J/MDA-7763J/
CDA-7877J



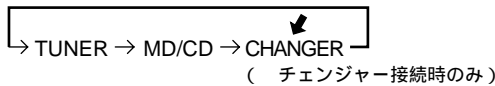
CDA-7873J



チェンジャー操作 (チェンジャーを接続すると、MDA-7767J/MDA-7763J/ CDA-7877J/CDA-7873Jから操作できます。)

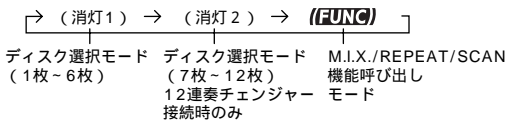
チェンジャーでMD/CDを聴く

- 1 「SOURCE」を押して、CHANGERモードにする。

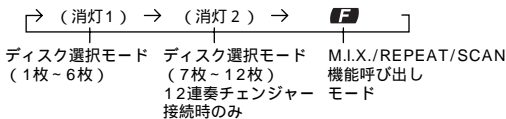


- 2 「F」を押して、ディスク選択モードを選ぶ。

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J



CDA-7873J



- 3 ディスクNo.を選ぶときは「1」～「6」のいずれかを押す。

消灯1：「1」～「6」はディスクNo.1～6に相当する。

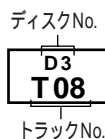
消灯2：「1」～「6」はディスクNo.7～12に相当する。

- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲(トラックNo.)を選ぶ。

MDA-7767J/MDA-7763J/
CDA-7877J



CDA-7873J



- 5 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量(0～35)を調整する。

- 6 演奏を一時停止するときは、「▶||」を押す。

PAUSE

再度「▶||」を押すと、演奏が再開する。




Memo

曲の早送り/早戻しをするには、「▶▶」または「◀◀」を押し続けます。チェンジャーモードのとき、「曲のイントロだけを聴く/曲順を変えて聴く/繰り返し聴く」については、MD操作(9ページ)、CD操作(11ページ)を参照してください。MD/CD/チェンジャーモード時に「BAND」を押すと、ディスクモードが切りかわります。Versatile Link Terminal(KCA-410C)を使用し、チェンジャーなど2台の製品を接続している場合は、「BAND」を押して製品を選びます。

ラジオ操作

ラジオを聴く


- 1 「SOURCE」を押して、TUNERモードにする。
TUNERモードにするとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)


 → TUNER → MD/CD → CHANGER →
 (チェンジャー接続時のみ)

- 2 「BAND」を押して、バンドを選ぶ。

→ FM1 → FM2 → AM →

- 3 「TUNE」を押して、チューニングモードを選ぶ。

 →  → (消灯)
 (ディスタンスモード) (ローカルモード) (マニュアルモード)



初期設定はディスタンスモードに設定されています。

- ・ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
- ・ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
- ・マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

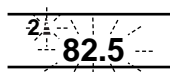
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。

- 5 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量(0~35)を調整する。

放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。

- 2 「1」~「6」のうち1つを2秒以上押す。
表示している放送局が点滅する。



- 3 5秒以内に「1」~「6」のうち1つを押す。
押されたNo.に、放送局が記憶され、点滅から点灯に変わる。



放送局は18局まで記憶できます。
FM1...6局、FM2...6局、AM...6局
すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動的に放送局を記憶する

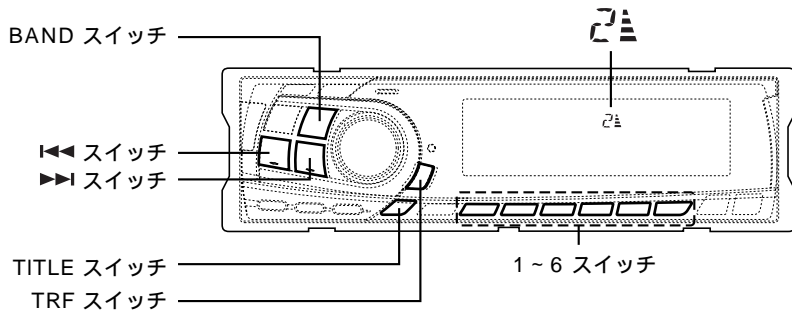
- 1 「BAND」を押して受信したいバンドを表示させる。

→ FM1 → FM2 → AM →

- 2 「A.ME」を2秒以上押す。
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」~「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。



記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。

→FM1→FM2→AM←

- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。
選択した放送局が受信される。

2.1
82.5

プリセットインジケーター
(「1」～「6」に記憶されている放送局を受信しているときに表示されます。)

ディスプレイに<STインジケーター>が点灯しているときは、FMステレオ放送が受信されています。
(AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。)



道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)

- 1 「TRF」を2秒以上押す。
TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信する。
- 1620
- 2 「\ll」または「\gg」を押して、1620kHz/1629kHzを切りかえる。
 - 3 解除するには、再度「TRF」を2秒以上押す。



Memo MD、CD、チェンジャー、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。

タイトル/テキスト操作

タイトル/テキスト/スクロールとは

この説明書で使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

タイトルとは

文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。「MD」には、文字入力できませんが、本機以外の製品で入力した文字を表示することができます。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

テキストとは

あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

タイトル/テキスト入力表示一覧

モード	タイトル		テキスト	
	入力	表示	入力	表示
MD	x		x	x
CD			x	
ラジオ			x	x

スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、「MANU（マニュアル）モード」とスクロールを繰り返す「AUTOモード」を搭載しています。CDテキストとMDタイトルのみスクロール表示します。

「MANU（マニュアル）モード」のとき、再スクロールを行うには（CD/MDモードのとき）

- 1 CDテキストまたは、MDタイトル表示のとき、「TITLE」を3秒以上押す。

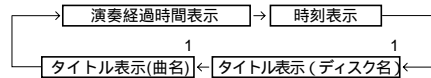


タイトル/テキストを表示する

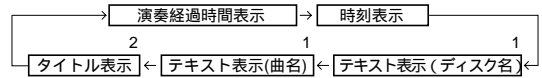
「ラジオ放送局」や「CD」に本機からタイトルを入力していれば、タイトルを表示させることができます。また、CDテキスト対応の音楽CDやMDの演奏中に、ディスク名/トラック名などを表示させることもできます。

- 1 「TITLE」を押す。

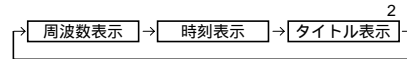
（MD/MDチェンジャーモードのとき）



（CD/チェンジャーモードのとき）



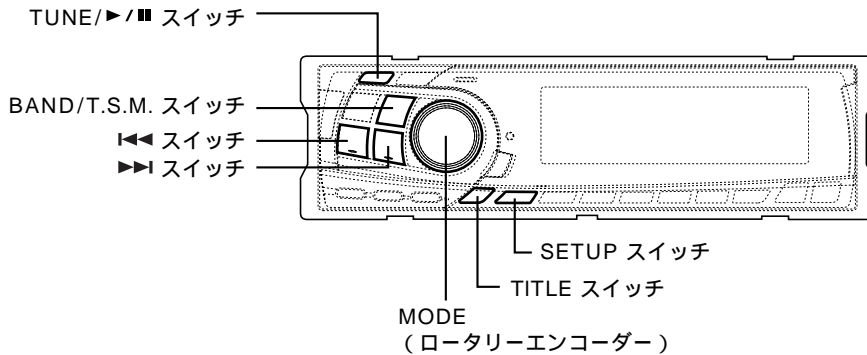
（TUNERモードのとき）



- 1 CDテキスト/MDタイトルが入っていない場合は **NO TEXT** と表示される。
- 2 タイトルが入っていない場合は **-----** と表示される。



CDチェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT対応のCDチェンジャーのみです。



タイトルをつける

お好みの「ラジオ放送局」や「CD」、「CDチェンジャーのCD」にタイトルをつけることができます。

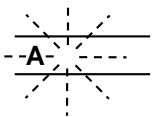
- 1 タイトルをつけたいCDまたはラジオ放送局を選ぶ。
(10、13ページ参照)
- 2 「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは「タイトル/テキストを表示する」(15ページ)を参照。
- 3 「TITLE」を3秒以上押す。

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ

- 4 10秒以内に、「BAND」を押して、文字の種類を選ぶ。

◀カタカナ→アルファベット(大英字)→アルファベット(小英字)→数字/記号▶

- 5 10秒以内に、「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、入力したい文字記号を選ぶ。
- 6 「MODE」を押す。
ディスプレイの1桁目が確定し、2桁目が点滅する。



- 7 4-6を繰り返し8桁まで入力できる。
8桁未満のときは「TITLE」を3秒以上押して、タイトル入力を終了させる。
- 8 タイトル表示モードを解除するには、「TITLE」を押して、表示モードを切りかえる。



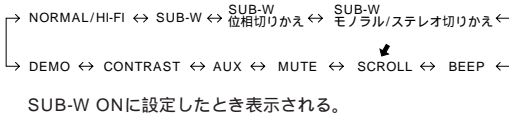
Memo

ディスプレイに **FULLDATA** と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。
タイトル名を消すには空白を選び、上記操作手順同様に入力します。
CDA-7877J内蔵のCDは最大CD24枚分までタイトルメモリーできます。
CDA-7873J内蔵のCDは最大CD18枚分までタイトルメモリーできます。
ラジオ放送局には最大24局(FM/AM合わせて)まで、タイトルをメモリーできます。
CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。
記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。
手順4~7の各操作は、10秒間操作を行わないと、入力モードが解除されます。
曲にタイトルをつけることはできません。
本機ではMDにタイトルを入力することはできません。

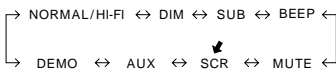
スクロールの設定

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、SCROLLまたはSCRモードを選ぶ。

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J



CDA-7873J



- 3 「TUNE」を押して、スクロールの設定を切りかえる。

AUTO ↔ MANU
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。



スクロールするのは、CDテキスト/MDタイトルのみです。

記憶したタイトルから選ぶ

記憶した放送局のタイトルやCDタイトルから聴きたい放送局や聴きたいCDチェンジャー内のディスクを選び出すことができます。

- 1 ラジオモードまたはCDチェンジャーモードのときに、「T.S.M.」を2秒以上押す。
選択モードになる。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい放送局のタイトルまたはディスクのタイトルを選ぶ。
- 3 「T.S.M.」を押す。
選択モードが解除され、聴きたいタイトルの放送局またはディスクを演奏する。

記憶したタイトルを消す

本機で入力、記憶したタイトルを消去することができます。

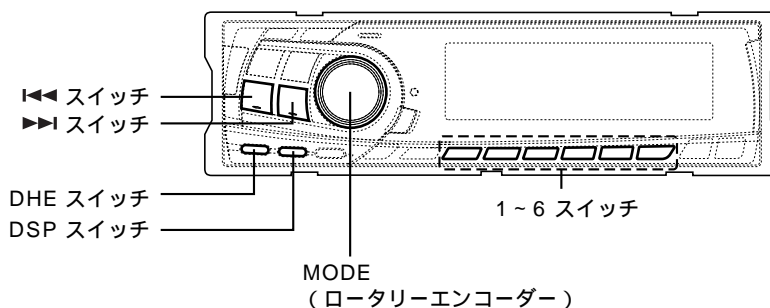
- 1 ラジオ/CD/CDチェンジャーモードのときに、「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(15ページ)を参照。
- 2 「TITLE」を3秒以上押す。
タイトルの1桁目が点滅する。
- 3 「▶/■」を2秒以上押す。
最初にメモリーされたタイトルが点滅する。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して消去したいタイトル名を探す。
- 5 「▶/■」を2秒以上押す。
タイトルが消去される。
- 6 タイトル消去モードを解除するには、「TITLE」を3秒以上押す。



CDテキストを消去することは、できません。

サウンド

(MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

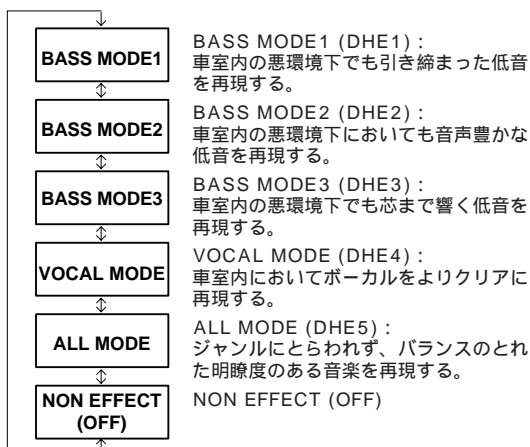


サウンド調整 (MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

DHEモードを選ぶ

DHE (Digital Harmonics Enhancer) は、各楽器やボーカルの音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。DHEはCD/MD/ラジオの、どのモードでも有効ですが、特にMDは、高度な圧縮方法で録音されているので効果的です。

- 1 「DHE」を押して、DHE選択モードを呼び出す。
ディスプレイが点滅する。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して好みのモードを選ぶ。



ダイレクト呼び出しで選ぶ

呼び出したいスイッチ「1」～「6」を選ぶ。

- 「1」 : BASS MODE1
- 「2」 : BASS MODE2
- 「3」 : BASS MODE3
- 「4」 : VOCAL MODE
- 「5」 : ALL MODE
- 「6」 : NON EFFECT (OFF)

- 3 設定が終了したら「DHE」を押す。
通常モードに戻る。



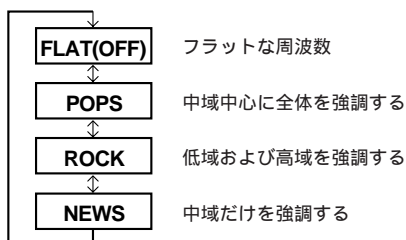
デフォルト (28ページ) がONのときは、操作を受け付けません。

イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ

- 1 「DSP」を押してEQモードを選ぶ。

→ EQ → EQ MEMORY → LPS → (OFF) →

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押す。
お好みのイコライザー特性を選ぶ。



ダイレクト呼び出しで選ぶ

呼び出したいスイッチ「1」～「4」のいずれかを押す。

「1」：FLAT (OFF) 「3」：ROCK
「2」：POPS 「4」：NEWS

- 3 設定後、「DSP」を押してOFFを選び、通常モードに戻す。

→ EQ → EQ MEMORY → LPS → (OFF) →



デフィート (28ページ) がONのときは、操作を受け付けません。

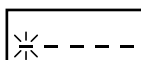
イコライザーカーブの調整と記憶

- 1 調整したいイコライザー特性を選ぶ。
「イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ」または、「記憶したイコライザーカーブの呼び出し」(20ページ)を参照。

例 (FLAT) の場合

FLAT

- 2 「MODE」を押す。
周波数帯 (63Hz) が点滅する。



- 3 「MODE」(ロータリーエンコーダー) を回転させて、お好みのレベルに調整する。

- 4 「MODE」を押して、次の周波数帯を点滅させる。

- 5 「MODE」(ロータリーエンコーダー) を回転させて、お好みのレベルに調整する。

- 6 上記手順4、5を繰り返し、最後の周波数 (16KHz) の調整まで行う。

調整内容を記憶させるには

- 1) 「MODE」を2秒以上押す。
ディスプレイが点滅してメモリー受け付けモードになる。
(「1」～「6」のいずれかを2秒以上押すことでもメモリー受け付けモードになる。)
- 2) 点滅している間に記憶させたいスイッチ「1」～「6」を押す。



DHE/EQの内容を記憶させることができます。
(LPSの設定は記憶されません。)

- 7 調整後、「DSP」を押してOFFを選び、通常モードに戻す。

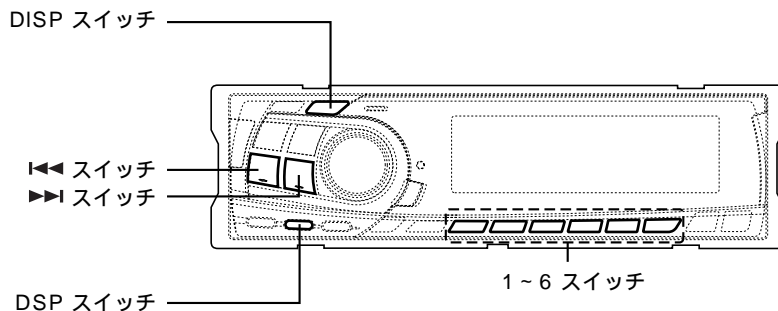
→ EQ → EQ MEMORY → LPS → (OFF) →



調整する周波数帯は、「◀◀」または「▶▶」でも選択することができます。

サウンド

(MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)



記憶したイコライザーカーブの呼び出し

- 1 「DSP」を押して、EQ MEMORYモードを選ぶ。

→ EQ → EQ MEMORY → LPS → (OFF) ↴

- 2 「<=<」または「>=>」を押して、呼び出したい「メモリー1」～「メモリー6」のうち1つを選ぶと、記憶した条件を呼び出せる。

ダイレクト呼び出しで選ぶ

呼び出したいスイッチ「1」～「6」のいずれかを押す。

EQ MEMORY

(プリセット2を呼び出した場合)

- 3 呼び出し後、「DSP」を押してOFFを選び、通常モードに戻る。

→ EQ → EQ MEMORY → LPS → (OFF) ↴



ディフィート(28ページ)がONのときは、操作を受け付けません。

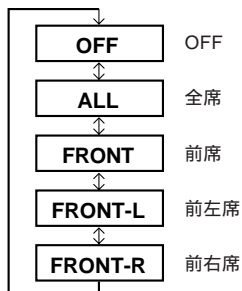
リスニングポジションの合わせかた(LPS)

音場を聴きやすい位置に移動でき、どの座席からも自然な広がりのあるサウンドが楽しめます。

- 1 「DSP」を押してLPSモードを選ぶ。

→ EQ → EQ MEMORY → LPS → (OFF) ↴

- 2 「<=<」または「>=>」を押して、お好みの位置を選ぶ。



ダイレクト呼び出しで選ぶ

呼び出したいスイッチ「1」～「5」のいずれかを押す。

「1」：OFF 「4」：FRONT-L
「2」：ALL 「5」：FRONT-R
「3」：FRONT

- 3 設定後、「DSP」を押してOFFを選び、通常モードに戻る。

→ EQ → EQ MEMORY → LPS → (OFF) ↴

スペアナ表示パターンの切りかえ

スペアナ表示パターンをお好みに合わせ3種類から選ぶことができます。また、スペアナ表示をOFFにすることもできます。

- 1 「DISP」を押して、希望の表示パターンを選ぶ。

No.	表示内容
1	上昇表示(1)
2	上昇表示(2)
3	ピーク上昇表示
4	スペアナ表示OFF

ディバイダー/タイムコレクションについて

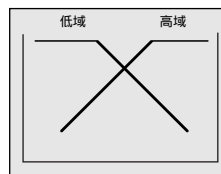
ディバイダーとは

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドのHPF (ハイパスフィルター) LPF (ローパスフィルター) の調整、スロープ (フィルター特性の減衰の傾き) レベルを設定します。

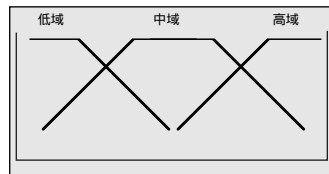
接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

2Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
フロントハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB

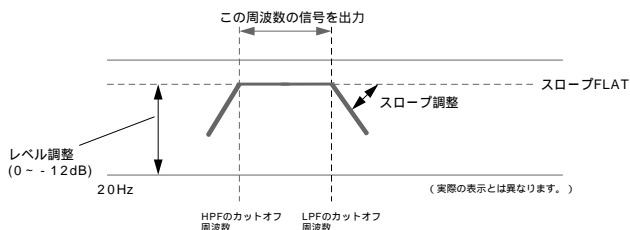


(実際の表示とは異なります。)

3Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ミッドレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	20Hz ~ 20kHz	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 20kHz	—	FLAT, 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



(実際の表示とは異なります。)



(実際の表示とは異なります。)

Memo

HPF (ハイパスフィルター) はある周波数より下の音域 (低域) をカットして、高域の成分を通すフィルターです。

LPF (ローパスフィルター) はある周波数より上の音域 (高域) をカットして、低域の成分を通すフィルターです。

スロープとは周波数が1オクターブ高くなるとは低くなったとき、信号が何dB減衰するかを表す値です。

スロープの数値が大きいくほど傾きは急になります。

スロープをFLATにすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。

ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。

同じチャンネル内でHPFとLPFの周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPFとLPFの周波数を越える調整はできません。

ハイレンジのHPFは通常、FLAT以外で使用します。

ハイレンジHPFのフィルターをFLATに設定した場合は、音量を上げすぎないでください。スピーカー故障の原因になります。

タイムコレクション (時間補正) について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離が大きくなればつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

- 1 リスニングポジション (運転席など) に座り、頭の位置と各スピーカーの距離 (m) を測定する。
- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。
 $L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$
- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速 (343m/s 気温 20) で割る。
 その値が各スピーカーの時間補正値となる。

具体例

1. 下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

(条件) :

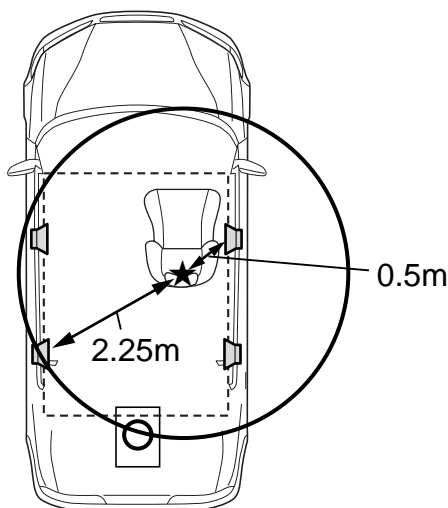
一番遠いスピーカー ~ リスニングポジション : 2.25m

フロント右側スピーカー ~ リスニングポジション : 0.5m

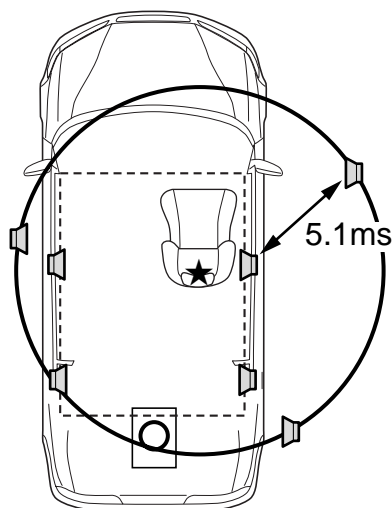
(算出) : $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に 5.1 (ms) とすることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



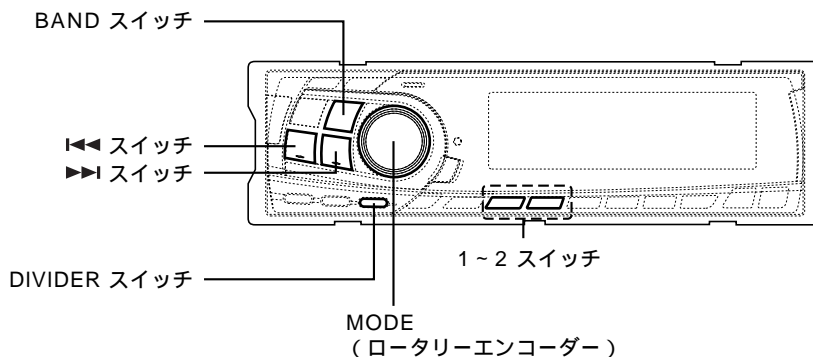
リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。
 右前スピーカーと左後スピーカーでは 1.75m の差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。
 右前スピーカーに 5.1ms の時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

サウンド

(MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)



ディバイダー / タイムコレクションの調整と記憶

ここでは、ディバイダーの調整、タイムコレクションの調整、記憶の手順説明を行います。

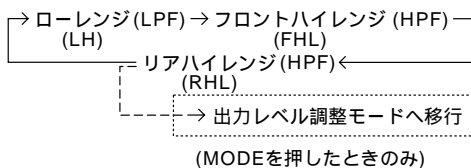
操作の前に、「ディバイダーとは」「タイムコレクション(時間補正)について」(22~23ページ)を参照してください。

- 1 「DIVIDER」を2秒以上押す。

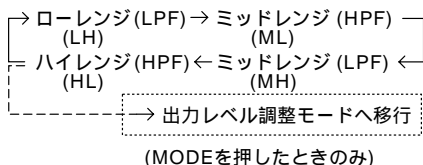
カットオフ周波数 / スロープ調整

- 2 「BAND」を押して調整するチャンネルを選ぶ。
「MODE」を押して選ぶことも可能。

2Wayシステム



3Wayシステム



- 3 「 \ll 」または「 \gg 」を押して希望のカットオフ周波数(クロスオーバーポイント)を選ぶ。

2Wayシステム

各チャンネルは20Hz~200Hz(1/3オクターブステップ)の周波数を選択できる

3Wayシステム

ローレンジ(LPF) / ミッドレンジ(HPF)
20Hz~200Hz(1/3オクターブステップ)の周波数を選択できる。

ミッドレンジ(LPF) / ハイレンジ(HPF)
20Hz~20kHz(1/3オクターブステップ)の周波数を選択できる。

- 4 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させてスロープを調整する。
スロープはFLAT、6、12、18、24dB/oct.の調整が可能。

- 5 さらに別のチャンネルを調整するには手順2~4を繰り返し、調整が済んだら「DIVIDER」を押す。



Memo

2Wayシステムと3Wayシステムについて本機底部の3Way/2Way切りかえスイッチと連動しています。(41ページ参照)

3WAY



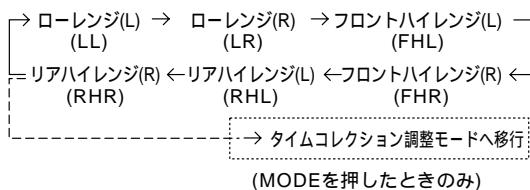
F/R/Sub-W
(出荷時)

3Way設定時:
3Wayシステムとして操作可能。
F/R/Sub-W設定時:
2Wayシステムとして操作可能。

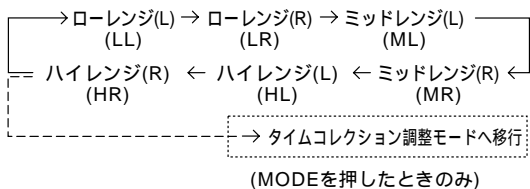
出力レベルの調整

- 6 「BAND」を押して調整するチャンネルを選ぶ。
「MODE」を押して選ぶことも可能。

2Wayシステム



3Wayシステム



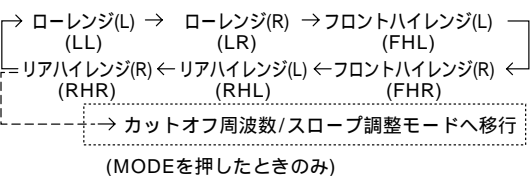
- 7 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、出力レベルを調整する。
レベルは -12 ~ 0の調整が可能。

- 8 さらに別のチャンネルを調整するには、手順6~7を繰り返し、調整が済んだら「DIVIDER」を押す。

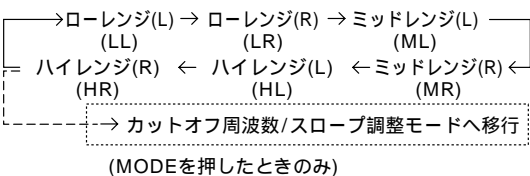
タイムコレクション(時間補正)の調整

- 9 「BAND」を押して調整するチャンネルを選ぶ。
「MODE」を押して選ぶことも可能。

2Wayシステム



3Wayシステム



- 10 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、時間補正值(0.0~20.0)を調整する。

- 11 さらに別のチャンネルを調整するには、手順9~10を繰り返す。

- 12 全ての調整が済んだら「DIVIDER」を2秒以上押して調整モードを解除する。

記憶する

調整した内容は記憶させることができます。

- 13 記憶させるには、「MODE」を2秒以上押す。
ディスプレイが点滅して、メモリー受け付けモードになる。「1」または「2」を2秒以上押すことでもメモリー受け付けモードになる。

- 14 点滅している間に記憶させたいスイッチ「1」または「2」を押す。
これで、ディバイダーとタイムコレクションの内容が本機に記憶される。

- 15 「DIVIDER」を押して通常モードに戻す。

記憶したディバイダー/タイムコレクションの呼び出し

- 1 「DIVIDER」を押す。

DV MEMORY

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して記憶した内容(メモリー1またはメモリー2)を選ぶ。

ダイレクト呼び出し

呼び出したいスイッチ「1」または「2」を押す。

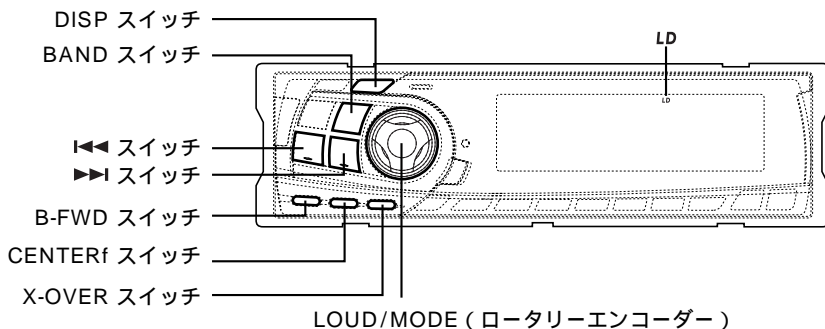
- 3 呼び出した後、「DIVIDER」を押して通常モードに戻す。



手順2の状態で「MODE」を押すと、調整モードに移行します。

サウンド

(CDA-7873Jのみ)

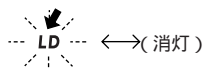


サウンド調整 (CDA-7873Jのみ)

ラウドネス (LOUD) を使う

人間の耳は音が小さくなると高音や低音が聞こえにくくなります。この音域の不足感を補うために高音・低音を強調させ、聴きやすくさせることができます。

- 1 「LOUD」を2秒以上押して、<LDインジケータ>を点灯させる。

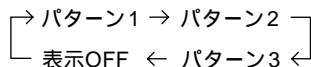


- 2 解除するには、再度「LOUD」を2秒以上押す。

レベルインジケータの表示パターンを切りかえる

レベルインジケータの表示パターンをお好みに合わせ3種類から選ぶことができます。また、表示OFFにすることもできます。

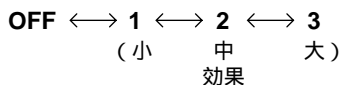
- 1 「DISP」を押して、希望の表示パターンを選ぶ。



バスフォワードの設定

低域 (主にエネルギー成分) をフロントシフトすることで、フロントの低域が増強され迫力ある音を再現することができます。

- 1 「B-FWD」を押して、バスフォワードの設定モードを呼び出す。
- 2 5秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押してバスフォワードのレベルを選ぶ。



HPF/LPFの設定

HPF (ハイパスフィルター) / LPF (ローパスフィルター) を設定することで好みの音響空間を再現することができます。

1 「X-OVER」を押して、HPFまたはLPFモードを選ぶ。

→ HPF → LPF → 通常モード



本機側のサブウーハー出力をOFFに設定した場合、LPF機能は使用できません。

2 5秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。

OFF ↔ 80Hz ↔ 120Hz ↔ 160Hz

HPF設定の場合

設定した周波数より上の周波数帯域を出力する。

LPF設定の場合

設定した周波数より下の周波数帯域を出力する。

(本機側のサブウーハー出力を使用した場合のみ有効)



HPF、LPFとバス/トレブルセンター周波数を組み合わせて使用した場合、設定した音域によっては強調されないことがあります。LPF、HPFをOFF以外に設定した場合は本機側のサブウーハー出力はモノラルになります。5秒間各設定の操作を行わずにいると自動的に通常モードに戻ります。ディフュート(28ページ)がONのときは、操作を受け付けません。

低音を強調する(バスセンター周波数)

お聴きになる音楽ソフトに合わせて強調したい周波数(低音)を設定/調整することができます。

1 「CENTERf」を押して、Bassコントロールモードを選ぶ。

↓
→ Bass コントロール → Treble コントロール → 通常モード

2 5秒以内に下記のそれぞれの設定/調整を行う。

バスセンター周波数の設定

設定した周波数の音域(低音)を強調する。

1) 「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。

→ 60Hz ↔ 70Hz ↔ 80Hz ↔ 90Hz ←
→ 180Hz ↔ 150Hz ↔ 130Hz ↔ 100Hz ←

バス帯域幅の設定

設定した周波数に対して帯域幅を変更することができる。

1) 「BAND」を押して、帯域幅を設定する。

→ B.Width1 → B.Width2 → B.Width3 → B.Width4 ←
(広い) ←-----> (狭い)

バスレベルの調整

バスレベルを調整することで低音域を強めたり、弱めたりすることができる。

1) 「MODE (ロータリーエンコーダー)」を回転させて、好みのBass Level (-7 ~ +7)を選ぶ。



5秒間、設定/調整の操作を行わずにいると自動的に通常モードに戻ります。

高音を強調する(トレブルセンター周波数)

お聴きになる音楽ソフトに合わせて強調したい周波数(高音)を設定/調整することができます。

1 「CENTERf」を押して、Trebleコントロールモードを選ぶ。

↓
→ Bass コントロール → Treble コントロール → 通常モード

2 5秒以内に下記のそれぞれの設定/調整を行う。

トレブルセンター周波数の設定

設定した周波数の音域(高音)を強調する。

1) 「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。

→ 10kHz ↔ 12.5kHz ↔ 15kHz ↔ 17.5kHz ←

トレブルレベルの調整

トレブルレベルを調整することで高音域を強めたり、弱めたりすることができる。

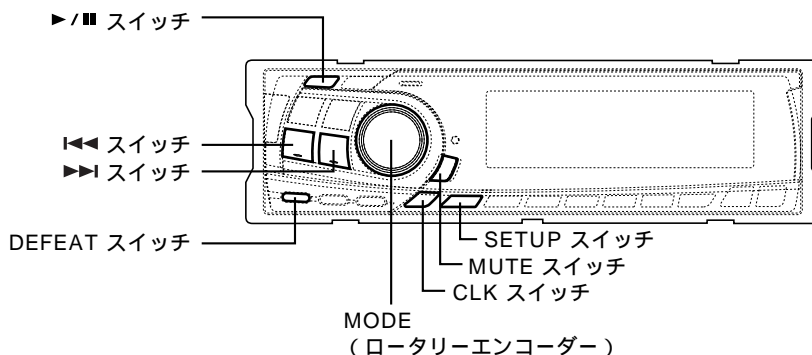
1) 「MODE (ロータリーエンコーダー)」を回転させて、好みのTreble Level (-7 ~ +7)を選ぶ。



5秒間、設定/調整の操作を行わずにいると自動的に通常モードに戻ります。

便利な機能

(共通操作)



便利な機能 (共通操作)

ミュートのON/OFF

- 1 「MUTE」を押す。
瞬時に音量が下がる。
- 2 解除するには、再度「MUTE」を押す。

操作音の切りかえ

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受けたことを伝えます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してBEEPモードを選ぶ。

ディフューズ

本機で調整 / 設定した内容を初期値に戻すことができます。

- 1 「DEFEAT」を3秒以上押す。
- 2 解除するには再度「DEFEAT」を3秒以上押す。



初期値に戻る内容

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J

DHE/EQ

CDA-7873J

バス/トレブルセンター周波数 / バスフォワード /
LOUD (OFF)

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J

NORMAL/Hi-Fi ↔ SUB-W ↔ SUB-W
位相切りかえ ↔ SUB-W
モノラル/ステレオ切りかえ
DEMO ↔ CONTRAST ↔ AUX ↔ MUTE ↔ SCROLL ↔ BEEP

SUB-W ONに設定したとき表示される。

CDA-7873J

NORMAL/Hi-Fi ↔ DIM ↔ SUB ↔ BEEP
DEMO ↔ AUX ↔ SCR ↔ MUTE

- 3 「▶/■」を押して、BEEPの設定を切りかえる。

BEEP ON ↔ BEEP OFF
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。



可動ディスプレイの開閉時の警告ブザーは、
BEEPのON、OFFに関係なく音を出します。

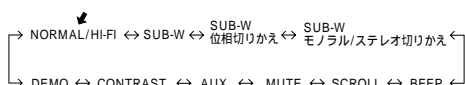
TUNERモード切りかえ設定

本機は「MAX TUNE SQ」を搭載しており、最高音質の性能が楽しめます。さらに、お好みで音質を設定することができます。

1 「SETUP」を3秒以上押す。

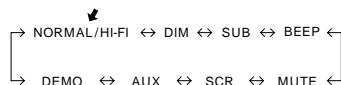
2 「◀◀」または「▶▶」を押してNORMAL/Hi-Fiモードを選ぶ。

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J



SUB-W ONに設定したとき表示される。

CDA-7873J



3 「▶/||」を押して、TUNERの設定を切りかえる。

NORMAL ↔ Hi-Fi

(工場出荷時の設定)

NORMAL : 標準設定

Hi-Fi : 音質重視設定

4 設定が終了したら「SETUP」を押す。

通常モードに戻る。

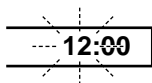


MaxTune SQの画期的なはたらき
MaxTune SQの優れた性能にはいろいろ理由があります。その技術的な特徴は以下のようになっています。

- 1) FM部においては、新たに採用した低ジッターのPLL (位相同期ループ) 回路により、非常に高い180dBのS/N比を実現
- 2) 復調コイルの改良により低歪み (基準値: 0.08%、通常0.1%未満) を実現
- 3) 信号選択度を高めた自動Wide/Narrowモード切りかえ機能を備えたハイパフォーマンスセラミックフィルターを採用。雑音の多い受信エリアで機能を発揮します。
- 4) 高電力入力特性の改良
- 5) AM部においては、干渉に非常に強い部品と回路を新たに採用。
Hi-Fi設定を使用の際、受信状態によってはノイズが目立つ場合があります。この様なときにはNORMAL設定での使用をお勧めします。

時刻を設定する

1 「CLK」を繰り返し押して、時刻表示モードにする。更に「CLK」を3秒以上押す。時刻が点滅して、調整モードに入る。



2 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、「時間」を調整する。「時間」を合わせたら、「MODE」を押す。

3 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、「分」を調整する。「分」を合わせたら、「MODE」を押す。

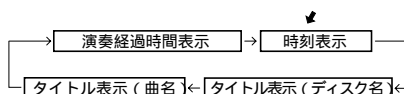


どのモード(MD、CD、ラジオ、チェンジャーなど)でも時刻を設定することができます。時報に合わせたいときは、「時」設定後に「MODE」を長く押すと分表示が00となります。「:30」を超えた表示のときに「MODE」を長押しすると「時」は繰り上がります。

時刻を表示する

1 「CLK」を繰り返し押して、時刻表示モードを選ぶ。

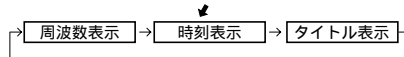
(MDモードのとき)



(CDモードのとき)



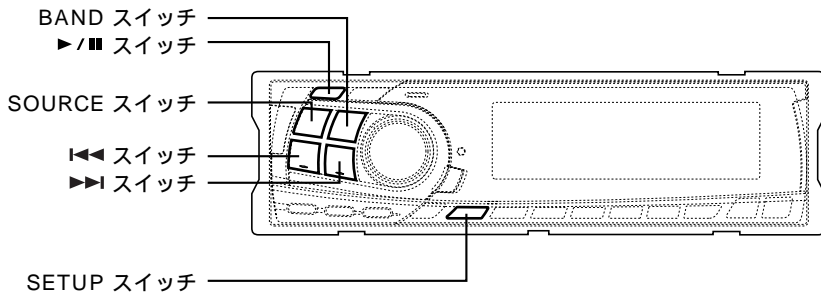
(TUNERモードのとき)



時刻を表示している状態で、ラジオ/MD、CDなどを操作すると、行った操作を5秒間表示した後、時刻表示に戻ります。電源がOFF状態でもイグニッションキーがONのとき、「CLK」を押すと時刻を表示します。

便利な機能

(共通操作)



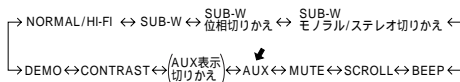
拡張ユニット操作

外部入力の設定

別売のAi-RCA変換ケーブル (KCA-121B) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してAUXモードを選ぶ。

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J



SUB-W ONに設定したとき表示される。
AUX IN ONに設定したとき表示される。

CDA-7873J



AUX ONに設定したとき表示される。

- 3 「▶/■」を押して、ONにする。

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J

AUX IN OFF ↔ AUX IN ON
(工場出荷時の設定)

CDA-7873J

AUX OFF ↔ AUX ON
(工場出荷時の設定)



AUXをONにした後に「◀◀」または「▶▶」で、(AUX表示切りかえ)を選び「▶/■」を押してAUXモード時の「表示」を設定することができます。

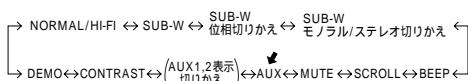
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。
- 5 「SOURCE」を押して、AUX (外部入力) モードを選び、音量などを調整する。

外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)

別売のVersatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に入力させることができます。

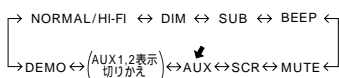
- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀▶」または「▶▶」を押してAUXモードを選ぶ。

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J



SUB-W ONに設定したとき表示される。
AUX IN ONに設定したとき表示される。

CDA-7873J



AUX ONに設定したとき表示される。

- 3 「▶▶」を押して、ONにする。

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J

AUX IN OFF ↔ AUX IN ON
(工場出荷時の設定)

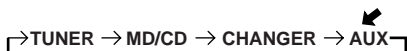
CDA-7873J

AUX OFF ↔ AUX ON
(工場出荷時の設定)



AUXをONにした後に「◀▶」または「▶▶」で、(AUX1またはAUX2表示切りかえ)を選び「▶▶」を押してAUX1、2モード時の「表示」を設定することができます。

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。
- 5 「SOURCE」を押して、AUX (外部入力) モードを選ぶ。



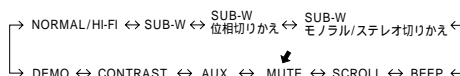
- 6 「BAND」を押して、接続された製品を選ぶ。

外部割り込みモードの設定

Ai割り込みBOX (NVE-K200) などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

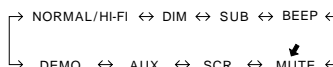
- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀▶」または「▶▶」を押してMUTEモードを選ぶ。

MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877J



SUB-W ONに設定したとき表示される。

CDA-7873J



- 3 「▶▶」を押して、MUTE OFFにする。

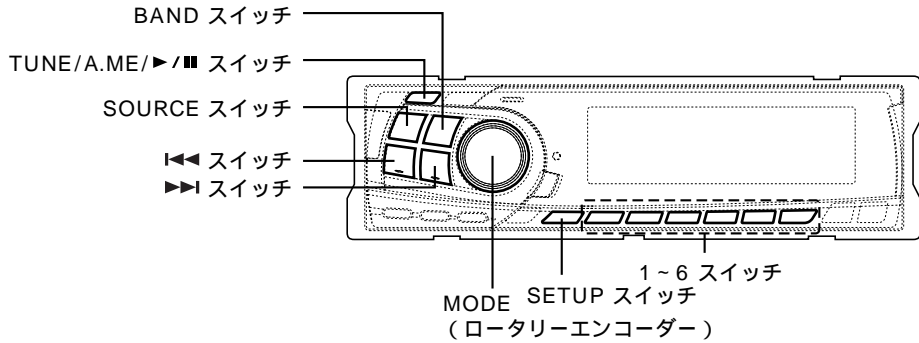
MUTE ON ↔ MUTE OFF
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。

デモ機能について
本機には、表示演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモ機能が用意されています。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀▶」または「▶▶」を押してDEMOを選ぶ。
- 3 「▶▶」を押して、DEMO ONにする。
- 4 「SETUP」を押す。
キー操作を30秒間行わずにいるとデモが始まります。解除させるには、上記手順でDEMO OFFに設定してください。





TV (Ai-NET対応) を操作する

放送局を選ぶ

- 1 「SOURCE」を押して、TVモードにする。

→ TUNER → MD/CD → TV → CHANGER

(各ユニットを接続している場合に表示)

- 2 「BAND」を押してバンドを選ぶ。

→ TV1 → TV2 → TV3

- 3 「TUNE」を押して、チューニングモードを選ぶ。

SEEK (SEEKモード)



(消灯) (マニュアルモード)



SEEKモードのとき
受信可能な放送局(チャンネル)を自動的に探します。
マニュアルモードのとき
1段階ずつチャンネルが変わります。

- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、放送局を選ぶ。

選んだ放送局を記憶する < 手動記憶 >

- 1 「放送局を選ぶ」を参照して記憶させたい放送局に合わせる。
- 2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。
- 3 5秒以内に、「1」～「6」のうち1つを押す。
押されたNo.に放送局が記憶される。

選んだ放送局を記憶する < 自動記憶 >

- 1 「BAND」を押して記憶させたいバンドを選ぶ。

→ TV1 → TV2 → TV3

- 2 「A.ME」を2秒以上押す。

電波の強いチャンネルを選択し、「1」～「6」に記憶される。

記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。

→ TV1 → TV2 → TV3

- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。

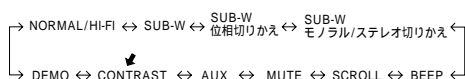
ダイレクトに放送局が受信される。

便利な機能 (MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

ディスプレイの濃淡調整

ディスプレイの表示が見えにくいときは、ディスプレイの濃さを調整することができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してCONTRASTモードを選ぶ。



SUB-W ONに設定したとき表示される。

- 3 「▶▶」を押して、濃さを調整する。
- 5 ~ + 5までの段階で調整することができる。

CONTRAST ±0

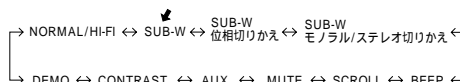
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。

拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してSUB-W ONまたはOFFモードを選ぶ。



SUB-W ONに設定したとき表示される。

- 3 「▶▶」を押して、SUB-WをONにする。

SUB-W ON ↔ SUB-W OFF
(工場出荷時の設定)

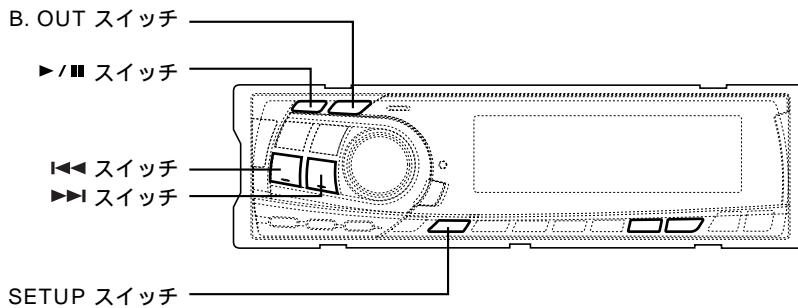
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。
通常表示モードに戻る。
- 5 「MODE」を押してSUB-Wモードを選ぶ。



- 6 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、サブウーハー出力のレベル(0 ~ +15)を調整する。



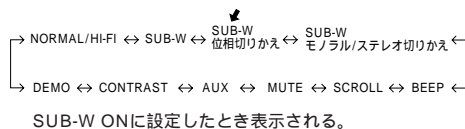
モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。



サブウーハー出力の位相切りかえ

サブウーハー出力の位相をNORMAL 0°/REVERS 180°に切りかえることができます。お好みの音を得られる方を選んでください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してSUB-W位相切りかえ (SUB-W NORMALまたはREVERS) モードを選ぶ。



- 3 「▶/■」を押して、NORMAL (0°) または REVERS (180°) にする。

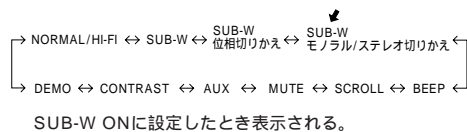
SUB-W NORMAL ↔ SUB-W REVERS
 (工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を2秒以上押す。通常表示モードに戻る。

サブウーハー出力の設定

本機サブウーハー出力をステレオ出力またはモノラル出力に設定することができます。組み合わせのサブウーハーに合わせ設定してください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してSUB-Wモノラル/ステレオ切りかえ (SUB-W STEREOまたはMONO) モードを選ぶ。



- 3 「▶/■」を押して、SUB-W STEREOまたはMONO モードを選ぶ。

SUB-W STEREO ↔ SUB-W MONO
 (工場出荷時の設定)

SUB-W STEREO :
 サブウーハーステレオ(L/R)出力
 SUB-W MONO :
 サブウーハーモノラル出力

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。通常表示モードに戻る。

便利な機能 (MDA-7767J/CDA-7877Jのみ)

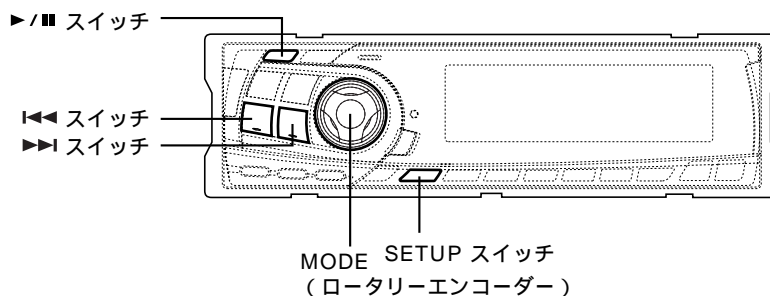
バックライトをOFFにする (BLACK OUT機能)

ディスプレイ表示部のバックライトを消灯することで、より良い高音質を実現させることができます。

- 1 「B. OUT」を2秒以上押す。
ディスプレイ表示部のバックライトが消える。
- 2 解除するには再度、「B. OUT」を2秒以上押す。



バックライトが消灯しているときに他のスイッチ操作を行った場合、表示部のバックライトを5秒間だけ点灯させ、再び消灯させます。

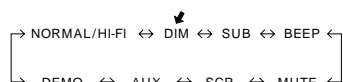


便利な機能 (CDA-7873Jのみ)

ディスプレイの明るさ調整

「AUTO」に設定すると、ヘッドライト点灯のとき、ディスプレイが減光します。夜間、ディスプレイが明るすぎる場合には「AUTO」にすることを勧めます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してDIMモードを選ぶ。



- 3 「▶/■」を押して、DIMの設定を切りかえる。

DIM AUTO ↔ DIM MANU
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。通常表示モードに戻る。



本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。

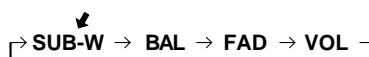
拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してSUBモードを選ぶ。



- 3 「▶/■」を押して、SUB-WをONにする。
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。通常表示モードに戻る。
- 5 「MODE」を押してSUB-Wモードを選ぶ。



SUB-Wを選んだ後、「◀◀」または「▶▶」を押すと、サブウーハー出力の位相(0°(NOR)/180°(REV))を切りかえることができます。お好みの音が見られる方を選んでください。

- 6 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、サブウーハー出力のレベル(0~+15)を調整する。



モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。デフォルト(28ページ)がONのときは、操作を受け付けません。

リモコン操作 (MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

CDA-7873Jは別売リモコンが必要です。

使用時のご注意

リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。

リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。

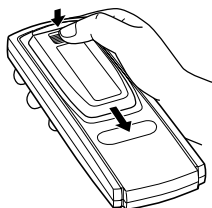
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気やホコリを避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。



電池を入れる

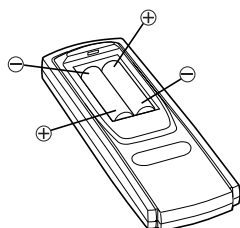
1 フタを開ける

フタを少し強めに押しながら矢印の方向へ押す。



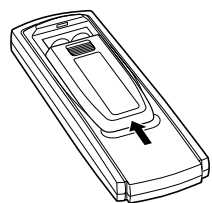
2 電池を入れる

本体の⊕、⊖表示通り入れる。



3 フタを閉める

“カチッ”と音がして固定される。

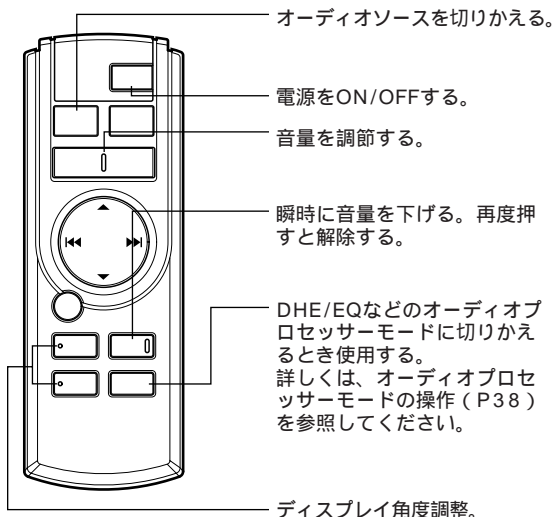


電池は単4乾電池 (UM-4) × 2をご使用ください。

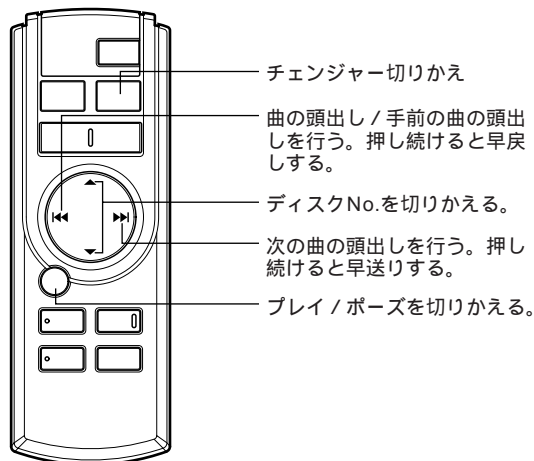
警告

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

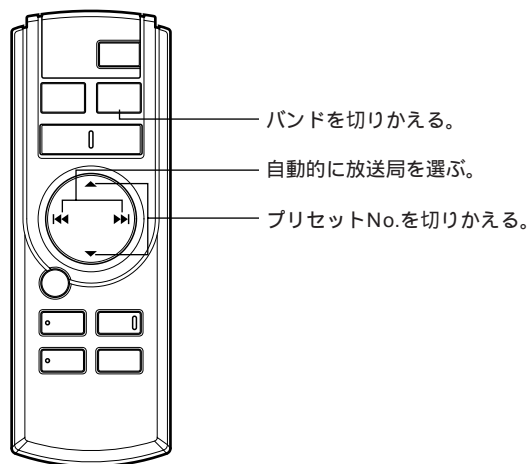
基本操作



MD/CD/チェンジャー操作



ラジオ操作



オーディオプロセッサ操作 (MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

手順		DHEモードを選ぶ	イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ	記憶したイコライザーカーブの呼び出し	リスニングポジションの合わせ方	記憶したディバイダー/タイムコレクションの呼び出し
1	「A.PROC」を押して、モードを選ぶ	→ 通常モード →	→ EQモード →	→ プライベートモード →	→ LPSモード →	→ DIVIDERモード →
2	「▲」または「▼」を押して、モードを選ぶ	↓ BASS MODE1 ↓ BASS MODE2 ↓ BASS MODE3 ↓ VOCAL MODE ↓ ALL MODE ↓ NON EFFECT ↑	↓ FLAT ↓ POPS ↓ ROCK ↓ NEWS ↑	↓ メモリー1 ↓ メモリー2 ↓ メモリー3 ↓ メモリー4 ↓ メモリー5 ↓ メモリー6 ↑	↓ OFF ↓ ALL ↓ FRONT ↓ FRONT-L ↓ FRONT-R ↑	↓ メモリー1 ↓ メモリー2 ↑

EQカーブの調整と記憶

調整する

- 1) 上表のEQモード / プライベートモード操作で調整したいイコライザー特性を選ぶ。
- 2) 「ENTER」を押して、調整モードにする。
- 3) 「◀◀」または「▶▶」を押して、調整したい周波数を選ぶ。
- 4) 「↑」または「↓」を押して、好みのレベルに調整する。
さらに別の周波数を調整するには、手順3) ~ 4) を繰り返す。

記憶する

- 5) 「ENTER」を2秒以上押す。ディスプレイが点滅する。
- 6) 「1」または「6」を押して、記憶させたいプリセット番号 (1~6) を選ぶ。
- 7) 「ENTER」を押して記憶させる。
さらに記憶させるには、上記手順を繰り返す。
- 8) 「A.PROC」を押して通常モードに戻る。



操作を途中で終了させるには、「A.PROC」を押します。

ディバイダー/タイムコレクションの調整と記憶

調整する

- 1) 上表のDIVIDERモードを選ぶ。
- 2) 「ENTER」を押して、調整モードにする。
- 3) 「BAND」を押して、調整するチャンネル (LPF / HPF) を選ぶ。
- 4) 「◀◀」または「▶▶」を押して、カットオフ周波数を選ぶ。
- 5) 「↑」または「↓」を押して、スロープを選ぶ。
さらに別のチャンネルを調整するには、手順3) ~ 5) を繰り返す。
- 6) 「ENTER」を押して、レベル調整モードにする。
- 7) 「BAND」を押して、レベル調整を行うチャンネルを選ぶ。
- 8) 「↑」または「↓」を押して、レベルを調整する。
さらに別のチャンネルを調整するには、手順7) ~ 8) を繰り返す。
- 9) 「ENTER」を押して、タイムコレクション調整モードにする。
- 10) 「BAND」を押して、時間補正を行うチャンネルを選ぶ。
- 11) 「↑」または「↓」を押して、時間補正值を調整する。
さらに別のチャンネルを調整するには、手順10) ~ 11) を繰り返す。

記憶する

- 12) 「ENTER」を2秒以上押す。ディスプレイが点滅する。
- 13) 「1」または「2」を押して、記憶させたいプリセット番号 (1~2) を選ぶ。
- 14) 「ENTER」を押して記憶させる。
さらに記憶させるには、上記手順を繰り返す。
- 15) 「A.PROC」を押して通常モードに戻る。



操作を途中で終了させるには、「A.PROC」を押します。

✂️ 取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- 1) ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 2) 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 3) 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 4) 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 5) コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 6) 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 7) 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 8) 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

・RCAコード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろ家庭のステレオ/ビデオ/テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

- 9) スピーカーの接続
純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
スピーカーは、インピーダンスが3.2～8のものをお使いください。
- 10) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 11) 取り付け場所について
MD/CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 12) 水平に対して35度以内に取り付けてください。
- 13) 不明な点はお買い上げ店/インフォメーションセンターにお問い合わせください。

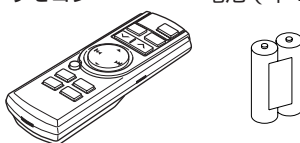
2. 準備

1. 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
2. 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。



(MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

リモコン 電池(単4)



3. バッテリーのマイナス端子を外す。
4. 灰皿、小物入れなどを外し、パネル(インパネ)を外す。
5. 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
6. オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。(ブラケットは、4. 取り付けの2. で利用します。)

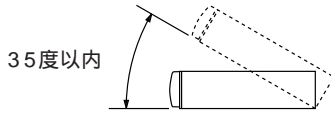
3. 接続する

1. 42ページの基本接続図を参照して接続する。
他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
2. ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
3. 正しく接続されているか、✓点がもれているところはないか確認する。
4. バッテリーマイナス端子を接続する。
5. イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
6. 本機の電源を切る。
7. イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

4. 取り付ける

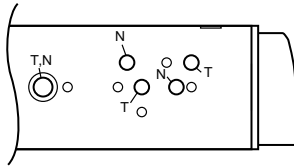
取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. MD/CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

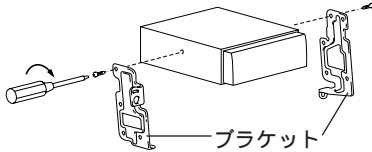


2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

取り付け用ネジ穴



N穴 ニッサン車専用
T穴 トヨタ・ミツビシ車専用



3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。

5. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。



IN-INTの接続について

IN-INTコードは次の組み合わせ時に使用します。
音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量を小さくし（音を止め）、認識率を高めます。（ミュート）
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
OUT-INT対応の製品と組み合わせる
Ai割り込みBOX（NVE-K200）などとOUT-INT対応のTV（TVE-T038など）を組み合わせ使用するとき接続します。
TVの音声を本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

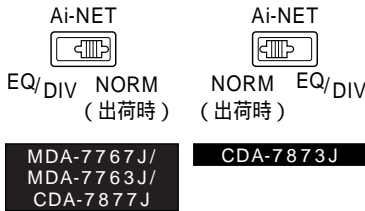
取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

システムスイッチ

本機にAi-NET対 (本機の底面部) (本機の底面部)
 応のイコライザー
 を接続するときは、
 「EQ/DIV」側に切
 りかえます。



チャンジャーのみを接続する (Ai-NET対応イコライザーを使わない) 場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

MDA-7767J/CDA-7877Jのみ

最大出力切りかえスイッチについて

最大出力を60Wにすることができます。

60Wで使用する場合、組み合わせるスピーカーが「最大入力60W以上」「インピーダンス 3.2~8 Ω」であることを必ず確認してください。

指定以外のスピーカーをお使いになると、スピーカーの発火・発煙・破損の原因になります。

また、本機とバッテリーの接続には、必ず別売の電源延長コード (KWR-303G) を使用し直接車側のバッテリーへ接続してください。接続方法については、別紙の「ご注意」を参照してください。

上記条件以外は、必ず45Wのままで使用してください。

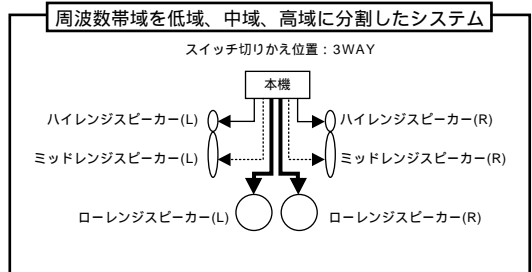
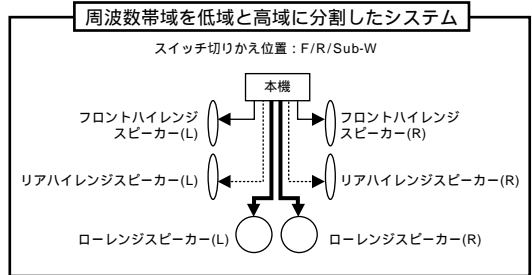
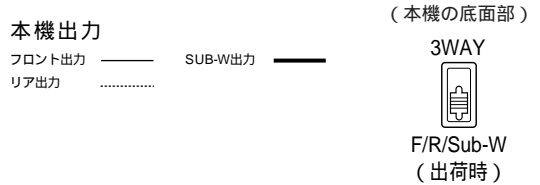
(本機の底面部)



MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ

3WAY/2WAY切りかえスイッチ

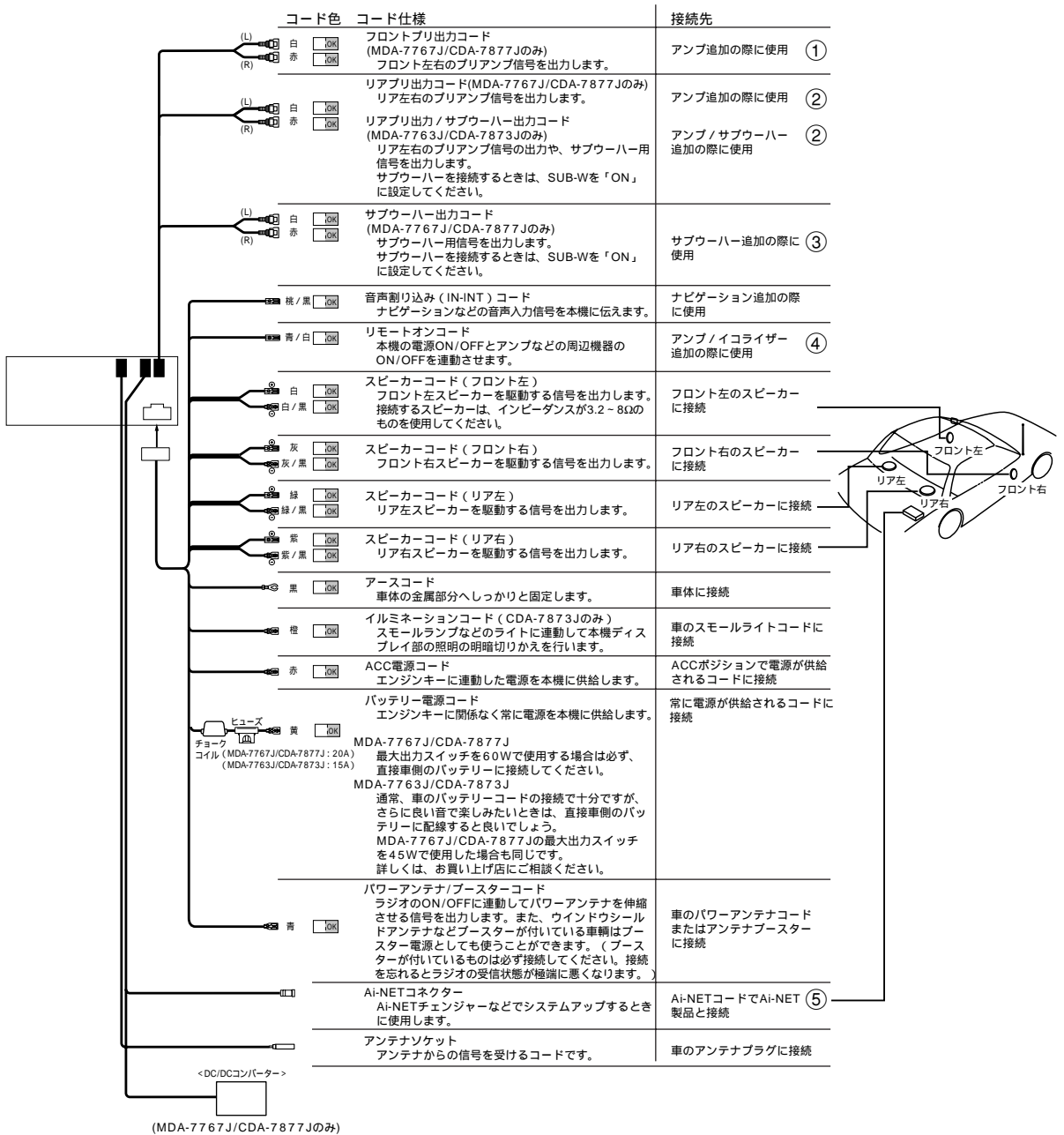
下記システム図を参考にスイッチを切りかえてください。
 詳しくはお買い上げ店にご相談ください。



ローレンジスピーカーへの接続は本機のSUB-W出力コードを使用します。フロント出力/リア出力は内蔵アンプを利用することもできます。3WAYに設定した場合、フェーダー調整はできません。

基本接続図

本機とスピーカー、チェンジャーを接続する基本的な接続です。



△注意 MDA-7767J/CDA-7877Jのみ

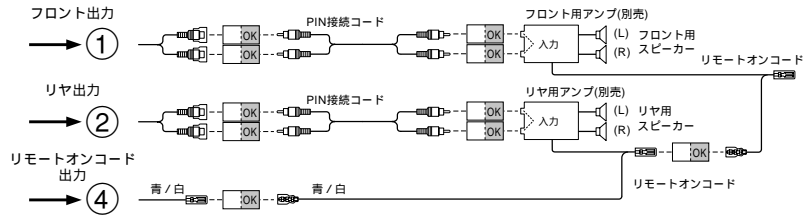
<DC-DCコンバーター取り扱い上のご注意>
DC-DCコンバーターはフロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
DC-DCコンバーターのケーブルは他のオーディオケーブルといっしょに束ねないでください。雑音の原因になります。
DC-DCコンバーターは熱を持ちますが、故障ではありません。

他製品との接続

1) 外部アンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------

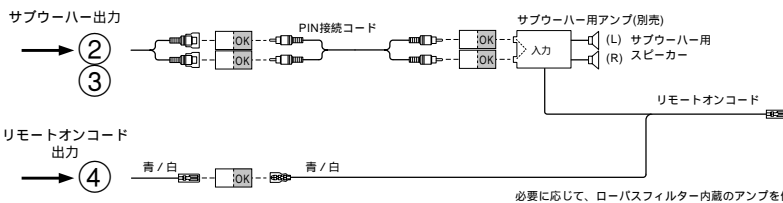
フロント出力は、
MDA-7767J/CDA-7877Jのみ



2) サブウーハーアンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------

Memo 「サブウーハーを接続する」(33～34、36ページ)を参照してください。



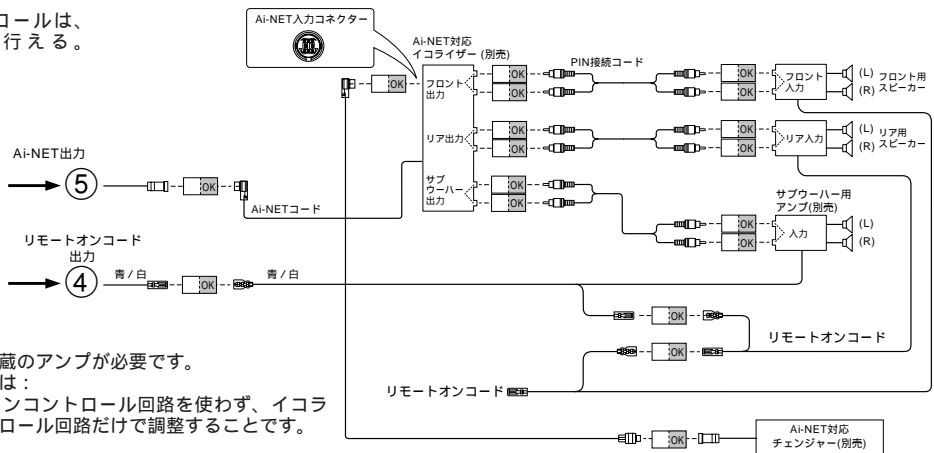
必要に応じて、ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

3) Ai-NET対応イコライザーおよびチェンジャーを接続する

システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------

Memo チェンジャーのみを接続する (Ai-NET対応イコライザーを使わない) 場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。(トーンバイパス機能)

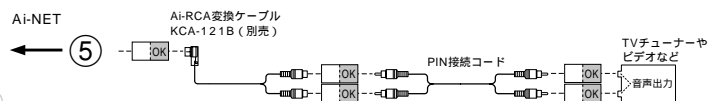


ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。
トーンバイパス機能とは：
ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。

4) 外部入力にビデオなどを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------

Memo 「外部入力の設定」(30ページ)を参照してください。



KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど (外部入力) 2台、計4台の製品を接続することができます。詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。



故障かな？と思ったら

操作ミスや動働いを故障と間違えていませんか？

→ 接続・配線は正しく行われていますか？

→ 下の表をもう一度ご確認ください。

→ それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P46）にご相談ください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ・ヒューズが切れている。
- ・規定容量のヒューズと交換する。(P42)
- ・内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
- ・リセットスイッチをボールペンの先などで押す。(P6)

電源が入るが音が出ない。

- ・音量レベルが最小になっている。
- ・音量レベルを上げる。(P7)
- ・MUTEがONになっている。
- ・MUTEを解除する。(P28)
- ・フェーダーの設定が適切でない。
- ・2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。(P7)

警告ブザーが鳴る。

- ・ディスプレイが開ききった状態で約30秒経過した。
- ・「▲」を押してディスプレイを開める。(P7)

記憶させた内容が消えてしまった。

- ・リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
- ・もう一度記憶する。(P6, 13, 16, 29)

- ・バッテリーコードの接続ミス
- ・接続を確認する。(P42)

ディスプレイが暗い。

- ・気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
- ・しばらく待つ。

MD部

MDが入らない。

- ・すでに別のMDが入っている。
- ・MDを取り出してから入れ直す。
- ・MDの入れかたが間違っている。
- ・本書を参照し、正しく入れる。(P8)

演奏が始まらない。ノ音がとぶ。ノ音が歪む。ノ早送りノ早戻しができない。

- ・車内温度が50 以上ある。
- ・車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ・MDに傷がついている。ノMDがひどく汚れている。ノ録音状態が良くない。ノ音楽用MDでない。
- ・他のMDを再生してみる。

結露している。

- ・しばらく放置してから使う。
- ・ピックアップレンズが汚れている。
- ・メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ)(P46)

CD部

ディスクが入らない。

- ・すでに別のディスクが入っている。
- ・ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。ノ音がとぶ。ノ音が歪む。ノ早送りノ早戻しができない。

- ・車内温度が50 以上ある。
- ・車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ・ディスクに傷が付いている。
- ・ディスクがひどく汚れている。
- ・録音状態が良くない。
- ・音楽用ディスクでない。
- ・他のディスクを再生してみる。

結露している。

- ・しばらく放置してから使う。
- ・ピックアップレンズが汚れている。
- ・メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ)(P46)
- ・市販のレンズクリーナーは、使用できません。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ・ディスクの側面ノセンターホールにバリがある。
- ・ボールペンなどで外側の線をなぞって突起箇所を取り除く。



ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- ・アンテナが接続されていない。
- ・アンテナが確実に接続されているか確認する。
- ・アンテナが伸びていない。
- ・アンテナを伸ばす。
- ・放送局の周波数が合っていない。
- ・周波数を正しく合わせる。(P13)
- ・周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
- ・見通しが良いところに移動する。
- ・アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
- ・アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- ・電波の弱い地域にいる。
- ・ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。(P13)

メッセージが表れたら... (MD/CD部)

NO DISC

(MDA-7767J/MDA-7763J/ CDA-7877J)

- ・ディスクが入っていない。
- ・ディスクを入れる。
- ・ディスクは入っているが、「NO DISC」, 「T- - - -」と表示され、演奏または、イジェクトができない。
- ・次の方法でディスクを取り出す。
- ①「▲」を押す。可動ディスプレイが開く。
- ②可動ディスプレイが開いた状態で「▲」を3秒以上押す。

T- - - - -

(CDA-7873J)

HI TEMP

- ・車内温度が高すぎる。
- ・車内温度を常温まで下げる。

ERROR

- ・ディスク傷、ディスク汚れ。ノ録音状態が良くない。ノ音楽用ディスクでない。
- ・「▲」を押して、ディスクを交換する。
- ・メカニズムエラー。
- ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
- ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
- ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

NO TEXT

- ・テキストが入力されていない。
- ・CDテキスト対応のCDと交換する。
- ・MDにタイトルが入っていない。

メッセージが表れたら... (チェンジャー部 (オプション))

NO MAGAZINE

(MDA-7767J/MDA-7763J/ CDA-7877J)

- ・マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。
- ・マガジンをCDチェンジャーにセットする。

NO MAGZN

(CDA-7873J)

NO DISC

- ・ディスクが入っていない。
- ・ディスクを入れる。

HI TEMP

- ・車内温度が高すぎる。
- ・車内温度を常温まで下げる。

ERROR-01

- ・ディスクがマガジンに戻っていない。
- ①「▲」を押す。
- ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。
- ・メカニズムエラー。
- ①「▲」を押す。
- ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。
- ③それでも復旧しない...修理ご相談窓口へ。

ERROR-02

- ・ディスクがマガジンに戻っていない。
- ①「▲」を押す。
- ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。

規格

チューナー部

受信周波数	AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V, FM ; 0.8 μ V (75%) : 9.3dBf (新IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 45dB以上
SN比	FM ; 80dB以上
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上
IF妨害比	FM ; 80dB以上

MD部

周波数特性	20Hz ~ 20kHz (\pm 0.5dB)
ダイナミックレンジ	90dB (1kHz) 以上
SN比	105dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

ドルビーラバトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

CD部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz ~ 20kHz (\pm 1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

リモコン部

(MDA-7767J/MDA-7763J/CDA-7877Jのみ)

使用電源	DC1.5V \times 2 (UM-4)
外形寸法	42 (幅) \times 121 (高さ) \times 23 (奥行) mm
重量	50 g (電池は含まれない)

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11 ~ 16V)
アース方式	\ominus アース
最大出力 (MDA-7767J/CDA-7877J)	60W \times 4
最大出力 (MDA-7763J/CDA-7873J)	45W \times 4
外形寸法	178 (幅) \times 50 (高さ) \times 155 (奥行) mm
重量	1.5 kg

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
必ず「販売店印・お買上げ日」が記入されていることをご確認ください。
保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買上げ店、または46ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口へ、修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品

製造打切り後、最低6年間保有しています。

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上げ店、または46ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買上げ店にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

(般)

(平成13年3月1日現在)

お問い合わせ窓口

製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

インフォメーションセンター

・ FAX : 03-3494-1767 TEL : 03-3779-0711

・ 電話受付時間 平日9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

営業所・販売名	電話番号	住 所	営業所・販売名	電話番号	住 所
東関東営業所	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	アルバイン九州(株)		
東京営業所	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地	福岡office	092-513-1071	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1-12-22
中部営業所	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108番地	長崎office	0957-27-1581	〒854-0074 長崎県諫早市山川町3-13
静岡出張所	054-283-0171	〒422-8032 静岡県静岡市有東3丁目9番1号 2F	熊本office	096-213-7118	〒862-0929 熊本県熊本市西原2-32-29
関西営業所	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	鹿児島office	099-253-7215	〒890-0034 鹿児島県鹿児島市田上6-27-15
アルバイン北海道(株)	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	アルバイン関西(株)		
アルバイン東北(株)			高崎営業所(群馬・栃木)	0273-61-5813	〒370-0073 群馬県高崎市緑町3丁目16-6
仙台office(青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島)	022-239-5331	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号	松本営業所	0263-48-4772	〒390-0852 長野県松本市島立830-11 深澤ビル102号
アルバイン中四国(株)			宇都宮営業所	028-610-8890	〒321-0942 栃木県宇都宮市峰2-28-12
岡山営業所	086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号	アルバイン近畿販売(株)		
広島営業所	082-846-1175	〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2-11-16	阪和営業所	0722-58-8111	〒591-8023 大阪府堺市中区百舌鳥4丁目57番地 サンライズ中百舌鳥103号
高松営業所	087-869-3086	〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	滋賀営業所	077-566-1140	〒525-0036 滋賀県草津市草津1660番地
愛媛出張所	089-958-4707	〒791-1104 愛媛県松山市土土居町443-1 エクスセル12 1-B	アルバイン新潟販売(株)	025-270-7021	〒950-0862 新潟県新潟市竹尾764番地6号
			アルバイン埼玉販売(株)	048-664-7701	〒331-0852 埼玉県大宮市桜木町3丁目179番地
			東京アルバイン販売(株)	03-3253-2635	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1の13
			アルバイン北陸販売(株)	0762-40-8111	〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号
			アルバイン三重販売(株)	0593-80-0220	〒510-0235 三重県鈴鹿市南江島7-14
			アルバイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通 堀川東入小泉町113番地の1
			アルバイン兵庫販売(株)	078-681-9711	〒652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5の6
			アルバイン高知販売(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号
			(株)パルス	0988-66-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3

修理ご相談窓口

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
北海道	アルバインカスタマーズサービス(株)札幌	011-642-1688	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号	滋賀			
青森				京都	アルバインカスタマーズサービス名神(株)関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
岩手				大阪			
秋田				和歌山			
山形				奈良			
宮城				兵庫			
福島				岡山			
栃木	アルバインカスタマーズサービス(株)大宮	048-664-9711	〒330-0038 埼玉県大宮市宮原町1-664	鳥根			
茨城				鳥取			
群馬				広島	アルバインカスタマーズサービス西日本(株)岡山	086-244-8163	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号
東京				山口			
神奈川				香川			
埼玉				愛媛			
千葉				徳島			
新潟				高知			
長野				福岡			
山梨				佐賀			
				大分			
静岡	アルバインカスタマーズサービス名神(株)中部	052-760-0850	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108番地	熊本	アルバインカスタマーズサービス西日本(株)福岡	092-513-1081	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1丁目12番22号
愛知				長崎			
三重				鹿児島			
岐阜				宮崎			
福井	アルバインカスタマーズサービス名神(株)関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	沖縄			
富山							
石川							

